

帰国のご挨拶

第一回世界選手権大会(イギリス・ノッティンガム)2015年7月18日～28日

梶下怜紀

イギリスより無事帰国いたしました。私たちがこうして渡航できたのは、スタッフ達と応援してくださった皆様のサポートをいただいたおかげです。この場をお借りしてお礼申し上げます。

私にとって今回の世界選手権は、2009年のデフリンピック以来で6年ぶりであり、トップへチャレンジしていく気持ちで臨みましたが、今の私にはクリアしていかなければならない課題が残されていると実感しました。2か月後にはアジア大会もあるので、2か月間でしっかりクリアできるように取り組んでいきたいと思います。

最後になりましたが、皆様には多くのカンパと支援をいただきました。今回、十分な結果を出すことは出来ませんでしたが、それでもたくさんのご声援をいただき、とても感謝しています。

ありがとうございました。

鈴木裕将

2回目の国際大会出場でしたが、去年初めて出場した国際大会の経験や反省を活かして、臨機応変に取り組むことを心がけました。迅速に取り組む勇気は要りましたが、おかげで世界のデフテニスを幅広い視野で見つめることができ、とても勉強になりました。

今大会の結果をしっかり受け止め、アジア大会まであとわずか2ヶ月、死に物狂いで練習に取り組んでいきたいと思います。

ご協力していただいた皆さん、ありがとうございました。

棟地英征

去年のアメリカ大会に続き、二回目の国際大会でしたので、事前準備をしっかり行い、気持ち的にも余裕をもって試合に入ることができました。

結果はついて来ませんでしたが、今回の大会で得られた課題をさらに磨き、今後のテニス活動に活かしていきたいと思います。

イギリス大会において様々な支援、サポートをしてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

山口華恵

日本代表になれたことに誇りを持ち、目標としていたものとはほど遠い結果に終わり、達成する事ができませんでした。

初の国際大会で想像していた以上に普段とは違う緊張感に包まれ、思うようなプレーが出来ず課題の多い試合になりました。

今大会の経験を“経験した”で終わらせず、自分自身をみつめ直す良い機会となり、今後は一から出直すつもりでさらに精進していきたいと思います。

多くの皆様からのあたたかいご支援やサポート、カンパをいただきありがとうございました。